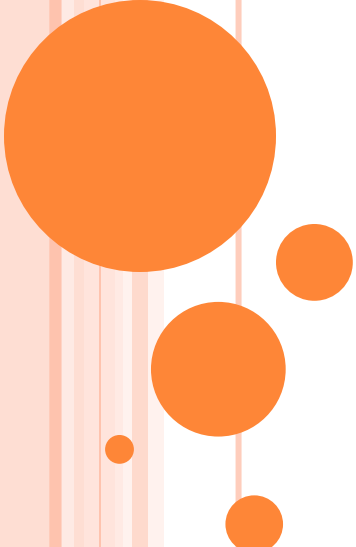


熊本県内における 耳鼻咽喉科学校健診の 地域別現状比較



熊本県耳鼻咽喉科医会および地方部会学校保健担当理事
定永恭明、平山晴章、大久保安博、友永和宏、宇野正志
春野医院：春野博一

はじめに

熊本県内を3地区(県北部、熊本市内、県南部)に分けて耳鼻咽喉科学校健診の状況に違いがあるかを平成24年3月におこなった最新のアンケートを基礎に調査することを本発表の目的とした。

調査方法は熊本県耳鼻咽喉科医会会員98名(A会員74名、B会員24名)に対し

熊本県北地区(18名)

(荒尾、玉名郡市、山鹿、阿蘇郡市、菊池郡市、その他)以下県北と略す

熊本市内地区(54名)

以下市内と略す

熊本県南地区(26名)

(宇城、八代郡市、天草、人吉球磨、益城、水俣、その他)以下県南と略す

以上に地域分けして結果を集計した。尚無記名者は地域不明として別集計した。

熊本県内の耳鼻科医の分布状況(全98名) 県北(18名)、熊本市内(54名)、県南(26名)

合併前の熊本県全体図



政令指定都市後の熊本県



学校健診についてのアンケート

お名前など差支えなければ以下にお書きください、

(個人情報には遵守します) なお無記名でも構いませんが1、以下への回答をお願いします。)

所属()

お名前()

1、学校健診をされていますか。(以下○をつけるか、数字や文章で御回答ください)

はい、いいえ(いいえの方はここで終了です)

2、健診時の身分は。

校医、協力医、その他()

3、健診受け持ち校数を教えてください。

幼稚園()小学校()中学校()高校()

4、そのうち全員健診している数を教えてください。

幼稚園()小学校()中学校()高校()

5、全員健診でなく選別健診されている先生に、その理由を教えてください

()

6、実際の検診時の時ですが、生徒のプライバシー保護のため、つい立などで他人から見えないような配慮をしていますか？

(はい、いいえ)

7、健診病名を記号化するなどして、プライバシー保護につとめていますか？

(はい、いいえ)

8、健診時には音声言語の項目がありますが、どのようにされていますか？

(全員に名前など言わせている、必要に応じて施行、何もやっていない。)

9、健診時の病名について判定にばらつきが多いなどの意見がありますが、日耳鼻が出している判定基準を参考にしていますか？

(している、していない)

10、していないと答えた方の理由をお知らせください

()

11、健診後の事後措置について意見がありましたらお書きください。

()

12、学校健診全体について何かご意見ありましたらお書きください。

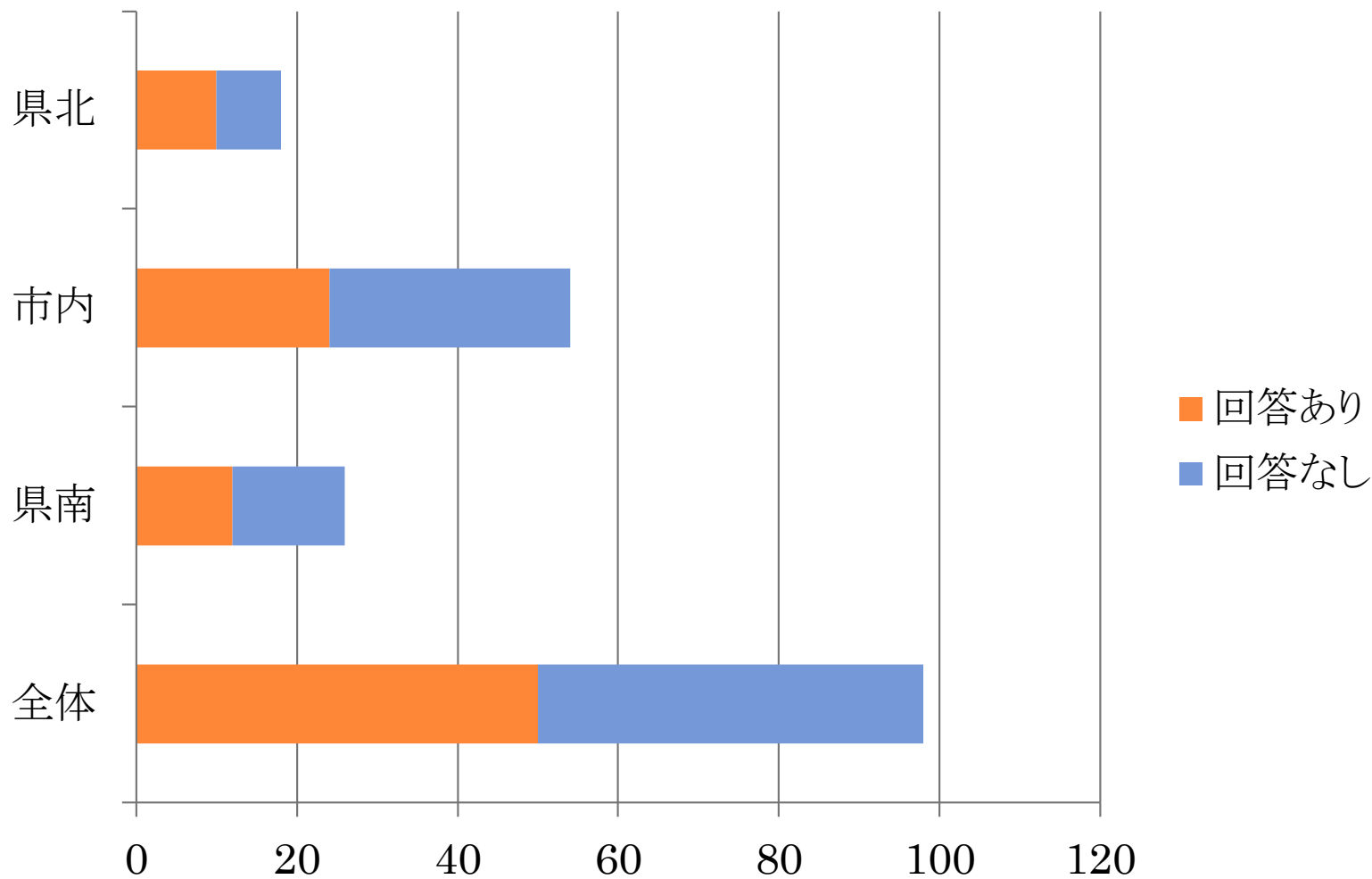
()

ご協力ありがとうございました

アンケート回収率 (横軸は人数)

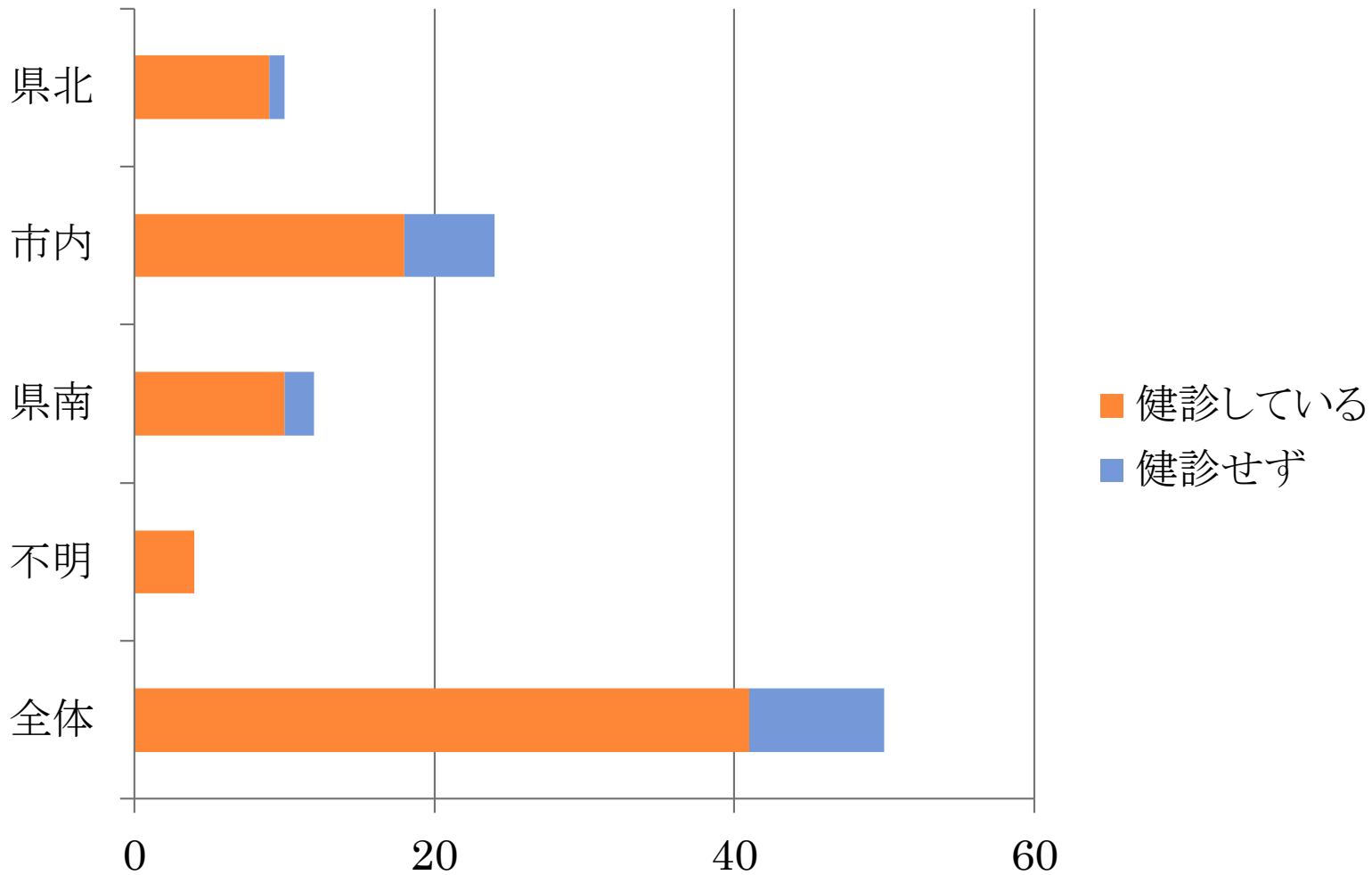
(全体51%、県北55%、市内45%、県南46%)

地域不明4名を除く(無記名者)



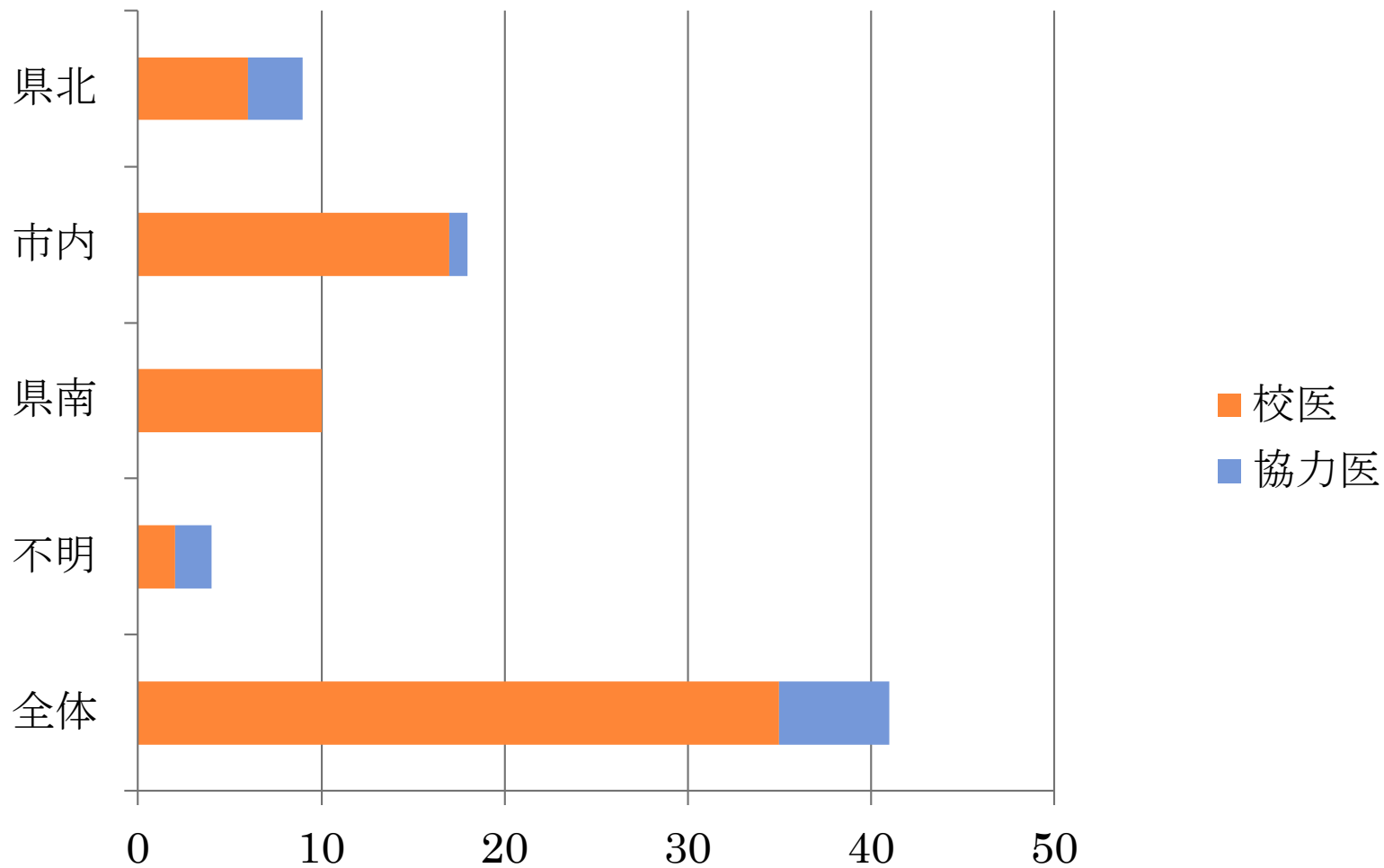
健診施行比率 (横軸は人数)

(県北90%、市内75%、県南83%、全体82%)



校医か協力医か (横軸は人数)

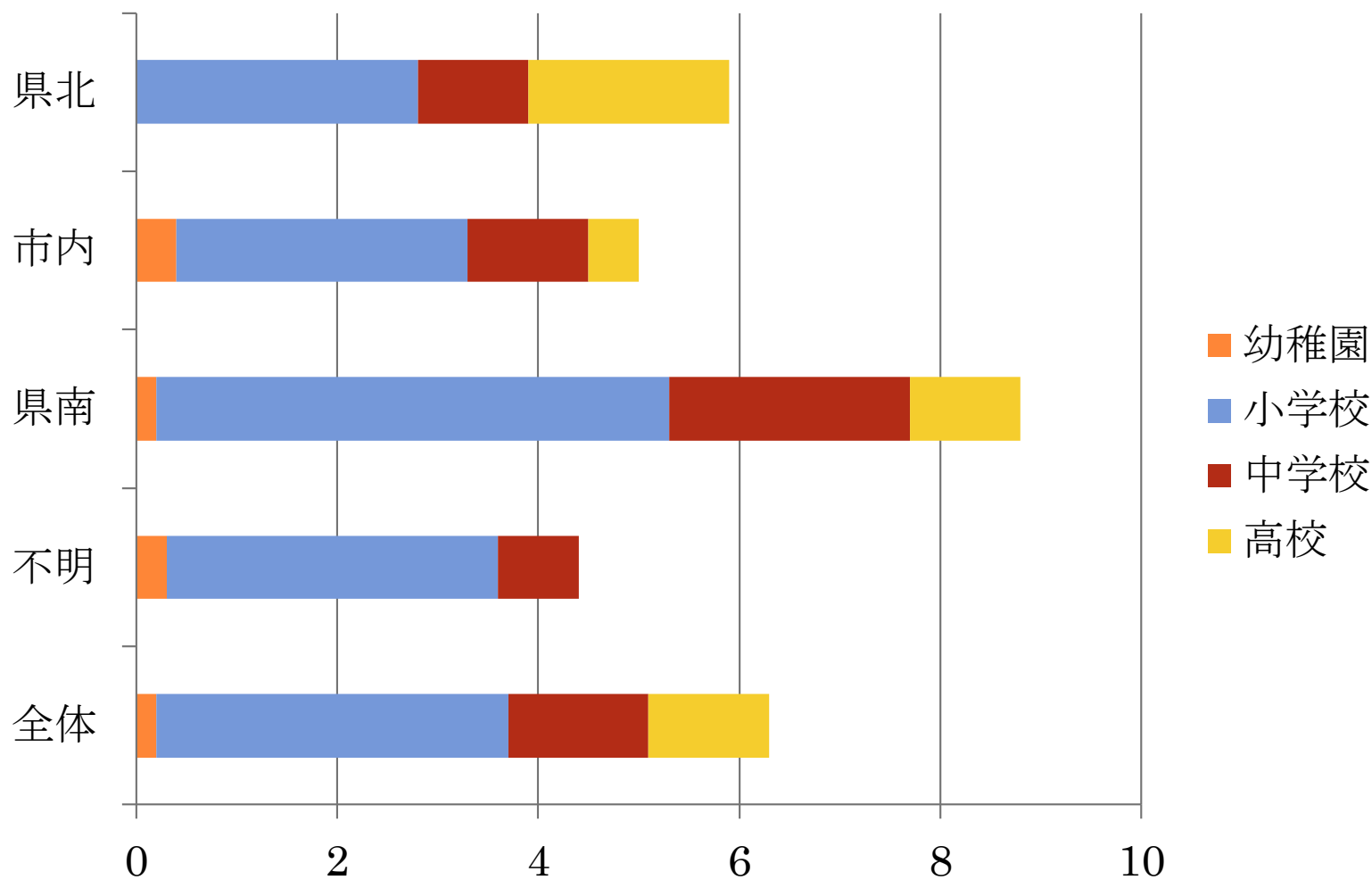
県北9名 (6:3)、市内18名 (17:1)、県南10名 (10:0)、全体41名 (35:6)



1校医あたりの平均受け持ち校数

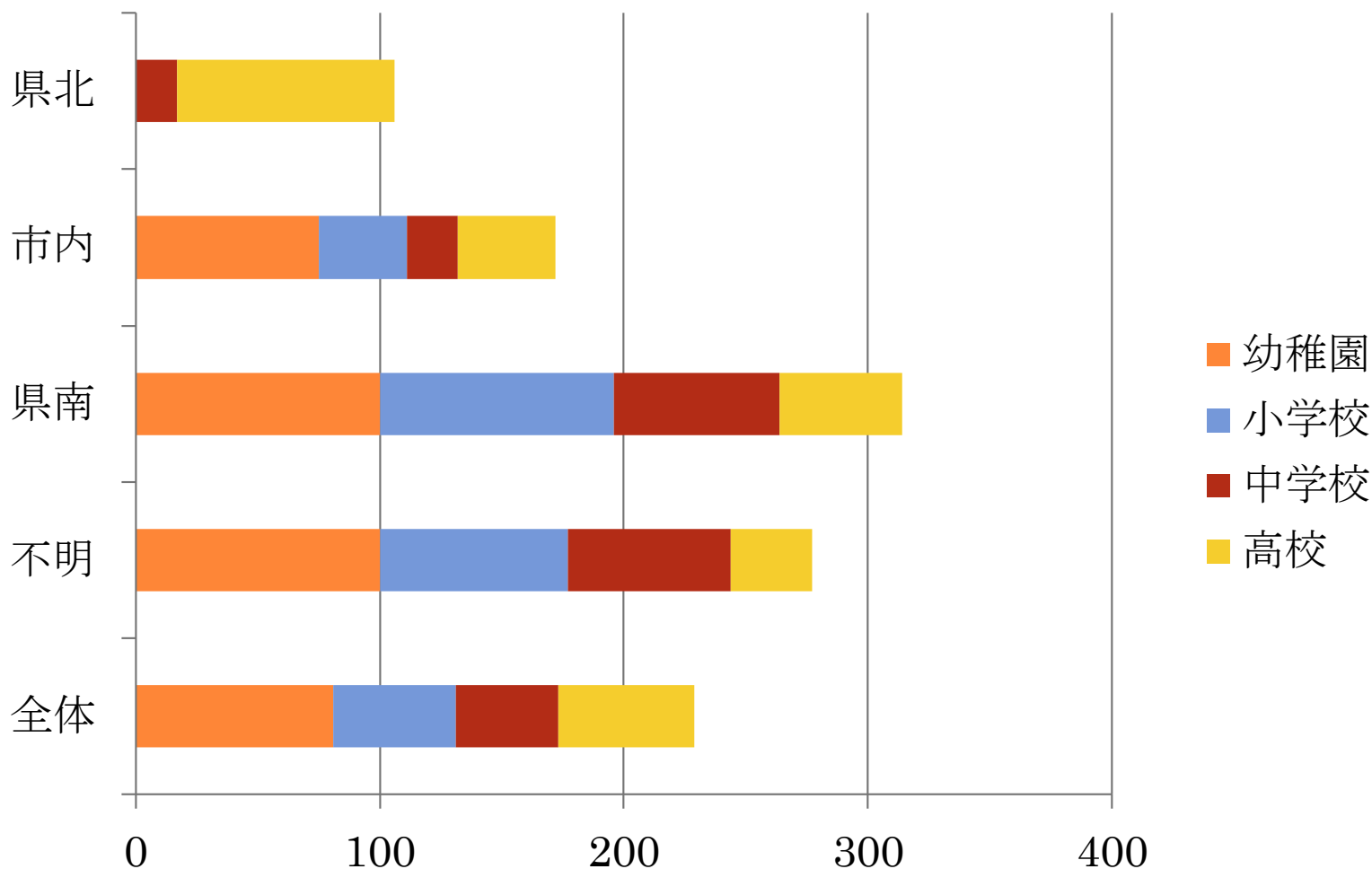
(横軸は校数)

(合計: 県北 5.9 市内5 県南8.8 全体6.3)



学校別全員健診実施率

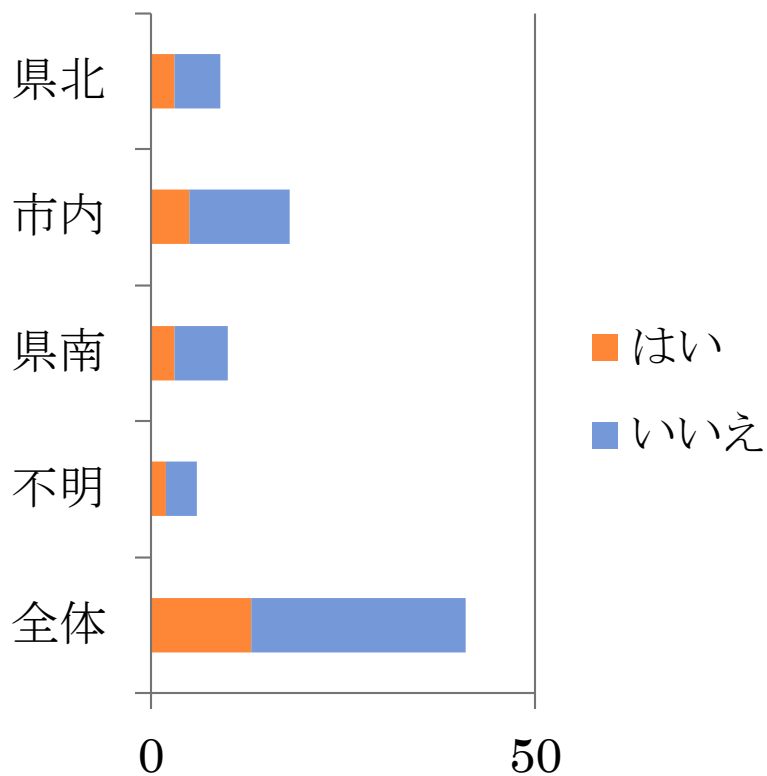
(全員健診校数/受け持ち校数) 横軸は%表示



健診時のプライバシー保護状況 (横軸は人数)

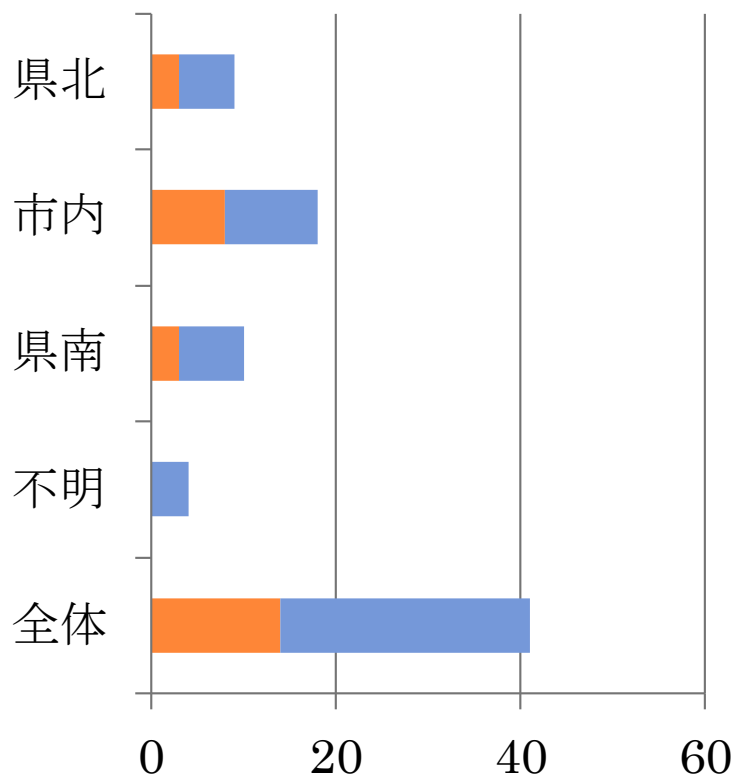
視覚的保護

(全体31%)



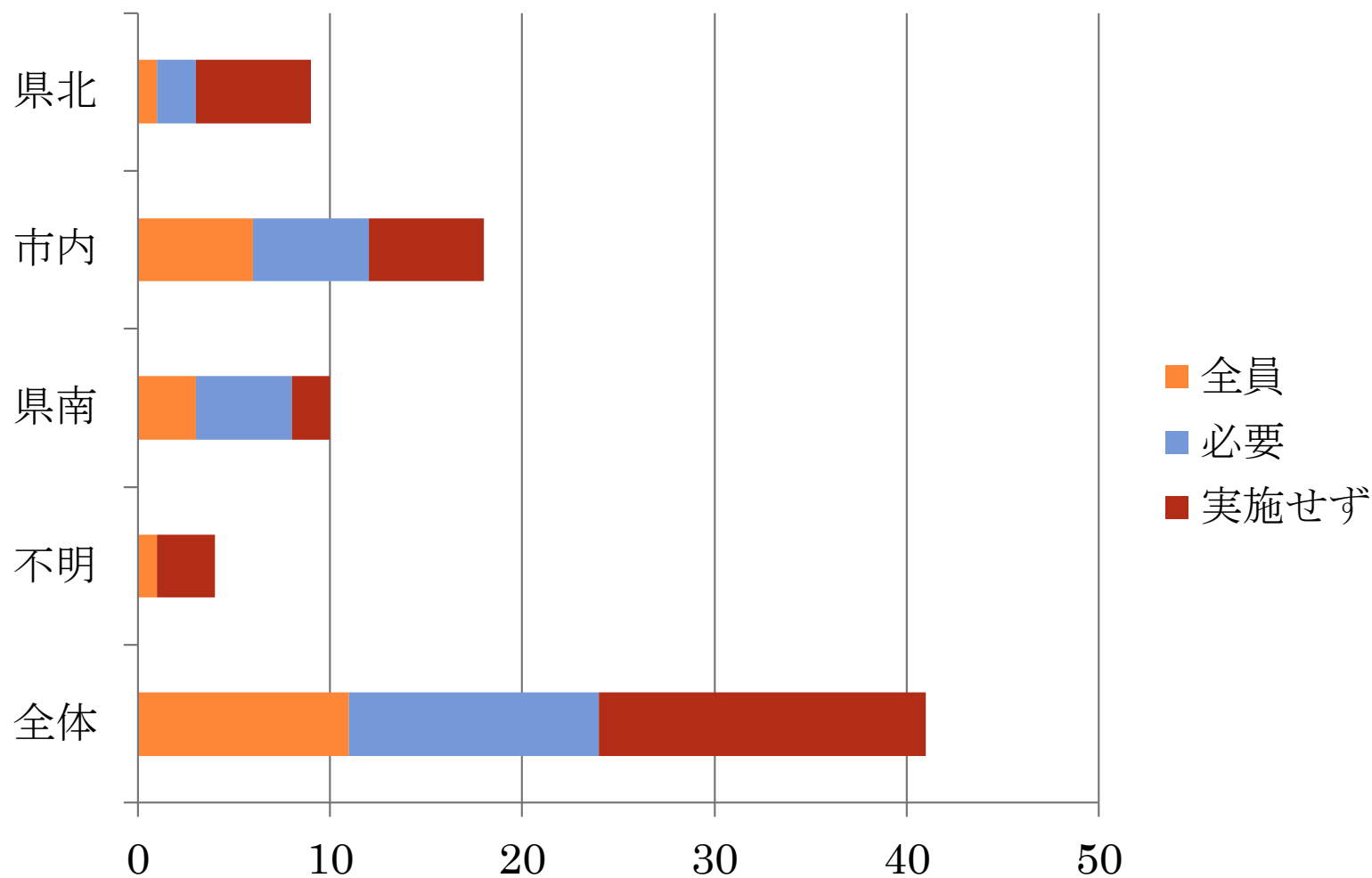
病名記号化

(全体41%)



音声言語健診の実施状況 (横軸は人数)

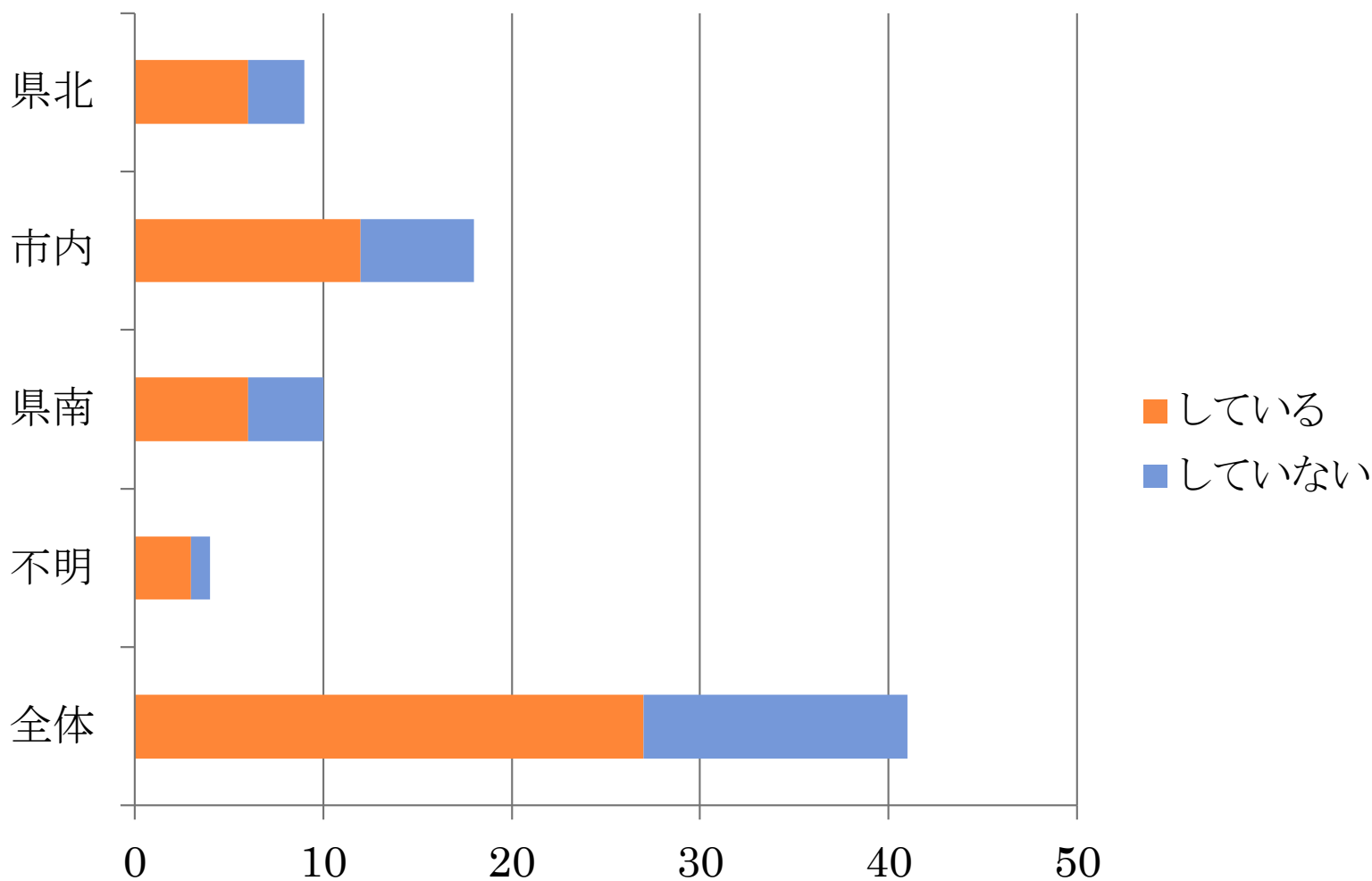
1、全員に実施、2、必要に応じ実施、3、実施せず
(県北33%、市内67%、県南80%、全体58%)



日耳鼻の提唱する判定基準の参考状況

(横軸は人数)

(県北67%、市内67%、県南60%、全体66%)



まとめ

- 1、熊本県内の耳鼻咽喉科学校健診の地域差を探るために、県内を県北、熊本市内、県南の3地区に分けてアンケート調査を集計した。
- 2、回収率は51%で前回を下回った。
- 3、健診医は県北では、協力医として活動している者もいるが、多くは校医であった。
- 4、一校医あたりの受け持ち校は県南で多く(平均8.8校)、全員健診の実施率も高かった。
(県北は低かった)
- 5、健診時のプライバシー保護状況はどの地域も低かった。(視覚的保護31%、病名記号化41%)
- 6、音声言語健診の実施状況も低調であった。
(特に県北33%)
- 7、日耳鼻推奨の判定基準の参考率は66%でさらなる周知徹底が望まれる。

